

## 環境公害セミナー・水俣病



中山裕二さん

オンライン&リアルで環境公害セミナーに参加 (スモン公害センターにて)

### 目次

環境公害セミナー・水俣病	
「水俣病、現在、過去、そしてこれから ～患者と向き合って」(上).....	2
2025年公害団体合同旗開き.....	8
JNEP情報.....	9
活動日誌.....	10

## 「水俣病、現在、過去、そしてこれから ~患者と向き合って」(上)

水俣病被害者の会事務局長 中山裕二

1月25日、病体生理研究所および公害・地球環境問題懇談会主催の「第34回環境公害セミナー」でお話しする機会をいただきました。今回、その際の発言原稿に手を入れて、書かせていただきます。

### マイク切りは環境省の本音

昨年5月1日、環境大臣と患者団体との懇談会の席上、司会をしていた環境省職員が発言中の患者のマイクを遮断しました(ヤフーニュースで閲覧可能です)。「水俣病マイク切りヤフーニュース」で検索

マイク切りはとても衝撃的でした。その瞬間、私は、今の環境省ならマイク切りぐらいするだろうと思いました。しかし、このまま黙っていたら懇談は、何もなかったかのようになってしまう、歴史的に許されないと思うし、私の人生に悔いを残すと思い、マイク音量を操作したかを確認する発言をしました。環境省の水俣病に取り組む現在の姿勢を端的に表したものでしたし、環境省の歴史に決して消し去ることのできない汚点を残す事件となりました。

### 改めて中山裕二です

水俣病にかかわって50年近くがたちます。もともとは、熊本県民医連「水俣診療所」、現在の「水俣協立病院」の職員でした。あとでお話をします水俣病第三次訴訟の準備を始めるタイミングで水俣協立病院を退職して、1979年から被害者の会の専従となり、こんにちにいたっています。

ところで、私の中山という姓は、長崎県の対馬がルーツです。

1895(明治28)年、対馬生まれの私の祖父は、親せきから「こんな島(対馬)に居てもうだつが上がらない。いま水俣というところに新しい工場ができてにぎわっているようだから、一旗揚げてきたらどうだ」と言われて水俣に引っ越したようです。水俣で祖母と出会い、私の父親も生まれています。

一家は、事情があり、1936(昭和11)年に熊本市に引っ越しました。父親は戦後、熊本市で小学校の教員をするのですが、自分の生まれ故郷で起きた水俣病に関心を持ち、熊本県の中でも最初に、教職員組合の仲間の先生方といっしょに水俣病を授業でとりあげました。そんな父親を見て育ちましたので、水俣で仕事することに抵抗はありませんでした。最初に会わされた患者さんが、姉とともに水俣病公式確認1号、2号と言われている田中実子さんでした。彼女は私と同じ1953(昭和28)年生まれです。祖父や父親が水俣で生活していたら私が実子さんだったかもしれないと思い、水俣病に向き合う覚悟を決めました。

それ以降、今日にいたるまで、多くの患者さんたちと出会いと悲しい別れもありました。歴史的なたたかひの現場に立ち会い、全国の心あるみなさんと出会えて、多くのことを学ばせていただいたことが、私の宝物であり財産です。

本稿では  
 チッソの歴史  
 水俣病が起きた経過、背景、チッソ、国、熊本県は何をしたのか、しなかったのか。  
 2度にわたった水俣病つづし  
 そのような中、患者たちはどのようにたたかってきたのか  
 というテーマで書き進めたいと思います。

120年近くの出来事で、書き始めればきりがありません。ざっくりとした書きぶりになりますが、水俣病のおよその全体像をご理解いただければと思います。私の主観もあり、厳密さには欠けますが、お許しください。

### チッソは、乞われて、乞われて水俣にやってきた

1905(明治38)年当時の水俣村は、戸数2,300戸、人口12,000人の寒村でした。農業、漁業のほかに、海岸線を生かして塩をつくる製塩業におよそ200戸、1000人が従事していました。

また隣の鹿児島県伊佐郡大口町(当時)の金山に動力用の燃料である石炭を水俣港から運んでいました。400台を越す馬車引きさんが、生計をたてていました。

ところが、同年政府は日清戦争の戦費調達のため塩を専売制にしました。そのため塩は自由に作れない、売れないことになりました。また、後にチッソの社長となる野口遵(したがう)が、大口金山の近くに水力発電所を作ったため、使用するエネルギーは電気にとって代わられた石炭は不要となりました。この二つの出来事によって、水俣の街には失業者があふれていました。

野口は、大口町で作った電気、水と対岸の天草の島にある石灰石をつかって化学工場をつくることにしていました。

この計画に飛びついたので水俣村でした。競争相手は、出水郡米ノ津町(現出水市米ノ津町)です。発電所からの距離は米ノ津町が8km近かったのですが、水俣村は、工場敷地を格安で提供すること、チッソ専用の港や8km分の電柱を提供するなど、破格の条件を提示して、米ノ津との競争に勝ちました。

当時の水俣の村長は「これでやっと水俣にも文明開化の灯がともった」と言ったそうです。このようにチッソは、水俣にやってきた瞬間から、盟主として地位を確保し、地域を支配していきます。

ちなみに今、百間排水口の樋門の保存をめぐって運動がなされていますが、その中で、当時、チッソの工場敷地は、使用されなくなっていた塩田のうえに立地されたことが明らかになってきています。工場排水の海への出口という事だけではなく、それ以前は、江戸時代以来続いた塩田の重要な構造物だったのです。

### 戦前のチッソ

チッソは、1932(昭和7)年からアセトアルデヒドの生産に触媒として使われた水銀の垂れ流しを始め、戦争中の空襲で工場が破壊されたので、その間は中断しますが、36年間にわたって、水銀を含む工場排水を無処理のまま、百間港や水俣川河口に流し続けます。広い海に流せば薄まって毒はなくなると思ったのでしょうか。水俣病の原因がこの排水に起因することが判明したのちも流し続けていますので、人体実験であり殺人であり、極めて悪質です。

### 神様がチッソ工場に

天皇が神様だった1931(昭和6)年、昭和天皇が水俣工場を視察しています。写真の先頭で案内しているのが、社長の野口で、二人目の軍服が昭和天皇です。見えにくいのですが、足元には赤いじゅうたんが敷かれています。水俣駅のプラットホームから工場内の天皇休憩所まで続いていたそうです。

天皇がやって来た時、労働者はなわばりをされた場所で、頭をさげ続けていたそうです。おかげで、天皇を直接みた人はいなかったそうです。

当時の水俣の人々にチッソの力を知らしめるには、この上ない力を発揮した行事だったでしょうし、戦前から続くチッソによる地域支配の構造を象徴的にみることのできる写真です。



昭和7年2月10日「行幸記念」、発行：日本窒素肥料株式会社水俣工場

### チッソはいかにして、のし上がったか

ひとつは強引な成長戦略です。当時先進的な技術を持っていたヨーロッパから特許を買い入れ、実験室や小規模工場での安全確認などせず、いきなり新しい製品を次々に作り、他社に先駆けて世に出します。いわゆる創業者利益です。世界のチッソ、技術のチッソと豪語していましたが、あながち大げさな表現ではありません。三井、三菱など4大財閥に次ぐ新興財閥の雄でした。

地元採用の労働者は 牛馬と思って使え というのが、野口の基本的な経営姿勢でした。その分、労働環境はすざましく、死亡を含む労働災害が頻発していました。

大正の時代からは、元工場長が市長を務めており、水俣病発生当時、水俣市の全労働者数のうち70%をチッソ従業員が占め、この時、水俣市の市民税収入も50%以上をチッソ関係者が納付していた時期がありました。

まさに水俣病が起きた背景には営々と続くチッソの地域支配、それによる民主主義の欠如が根底にあったと言えます。

労働者の犠牲を前提の経営でした。工場内にひどい毒が充満し、それが塀を越えて、外に出てきたのが水俣病だったのです。

もう一つは、アジアへの進出です。

戦前日本は、アジア侵略をしますが、チッソは軍隊とともにアジアでの工場建設を進めます。一番大きいのは現在の北朝鮮にある興南工場ですが、マレーシアまで点々と工場を建設しています。軍事用の火薬なども作っていました。戦争を遂行する国策会社でした。

この時にアジアの工場で働く現地従業員は「蚤や蚊」と思って使え、というものでした。この思想は、敗戦でチッソ幹部が戦後水俣に引き上げてきたことで、そのまま水俣に持ち込まれたのではないかと思います。他所から移住してきた住民や地域を差別的にあつかう風潮につながり、このことが水俣病の隠蔽や患者差別を生んだのではないかと思います。

このように、水俣病を引き起こす基本的な構造は戦前からすでに存在していたことができます。

### 水俣病が発生する(公式確認の日)

1956(昭和31)年5月1日、チッソ附属病院の細川院長は、「類例のない疾患が発生している」と水俣保健所へ報告しました。

報告されたのは田中実子さん2歳と5歳の姉も含まれていました。行政が初めて知った日であり、水俣病公式確認の日となっています。

公式確認の年、熊本大学研究班は、「ある種の重金属による中毒症」としてマンガンを疑っていました。この田舎にマンガンを使っている工場はチッソ以外にないので、当然にチッソを疑うべきで、原因究明も行われるべきでした。しかし、チッソには、ものが言えなかったのです。

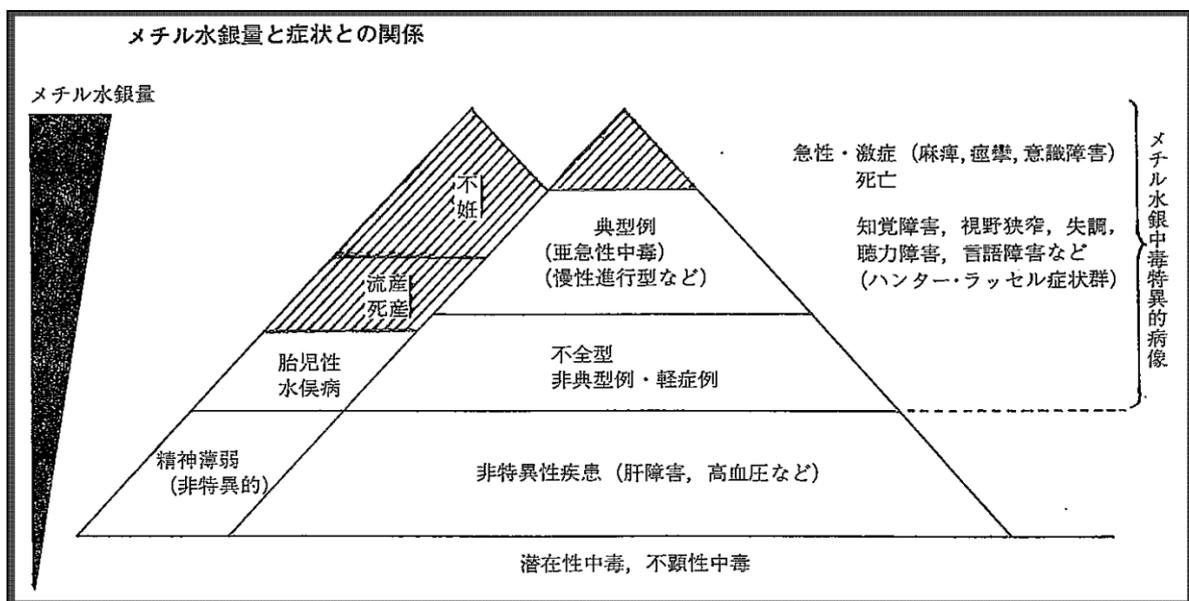
この日には、毎年、水俣病犠牲者慰霊式が行われています。慰霊式のあとに環境大臣との懇談の機会がありますが、昨年のマイク切りは、まさにこの厳粛な慰霊の日に起こされた事件だったのです。

### 水俣病の症状は多岐にわたる

原田正純先生が作られた、ピラミッドの図にあるように、メチル水銀を取り込んだ量によって差がありますが知覚障害、視野狭窄、失調、聴力障害、言語障害などがある中毒症です。

発生当初は急性劇症の症状を呈する患者さんが発生しています。当時の患者名簿を見ると発症日が特定されています。その多くは、発症後、長くせず亡くなっています。補償制度ができる前に亡くなった患者も少なくありません。

今に続く患者は、慢性水俣病といわれています。外見からはそれとわかりませんが、手足や全身にわたる感覚障害、手足のしびれ、からす曲がり、まわりが見えにくいなど、症状はひと様々、多彩です。



メチル水銀量と症状との関係図 (原田正純氏作成)

### 水俣病は公害の原点

亡くなった原田正純先生は、水俣病は公害の原点と述べています。

一つは、食物連鎖による汚染です。それまでは、工場排水やけむりなど汚染されても、川や海、大気中に放出すると薄まって、毒性はなくなるとされていました。

しかし水俣病は初めて食物連鎖により魚の濃度がひどくなることを証明するものとなりました。

二つ目は、胎児性の水俣病です。母親の胎内において、水銀ばく露をうけました。それまで母親の胎内は、子供の安全を確保すると思われていましたが、水銀はそれを突き破り胎児を直撃しました。人類が初めて経験したことであり、子宮は環境と無縁ではありません。現在も様々な有害物質があふれていますが、水俣病の経験は警告を発し続けていると思います。

### 第一の水俣病つぶし

チッソや国・熊本県は、昭和34年までに水俣病をつぶしにかかります。

まずチッソによる原因究明に対する妨害です。

旧日本軍が袋湾に投棄した爆薬のせいだ、とか、腐った魚のアミンが原因だ、とか、マンガン、セリウム、タリウムなどの水銀以外の重金属が原因だと、次々と御用学者を使って諸説を振りまきました。原因はたくさんあり、自らの廃水にたどり着かせない戦略でした。時間を稼ぎ、新たな設備投資の資金を確保しようとしていました。一方で原因を追究していた熊本大学に工場排水を提供することはありませんでした。

また、国や熊本県は、魚を捕ること、食べることを規制しませんでした。当時の厚生省の見解は、水俣湾内のすべての魚介類が有毒化しているかどうかはわからないので、食品衛生法の適用はできない、というものでした。

この間、チッソは、増産につぐ増産をしています。

アセトアルデヒドの生産は、折れ線グラフです。公式確認後の1957(昭和32)年から急速に増え始め、ピークは、1960(昭和35)年からの数年間です。1962(昭和37)年に落ち込んでいるのは、チッソの安定賃金闘争といわれた労働争議の影響です。

### 1959(昭和34)年の動き

チッソ、国・熊本県などが総力をあげて、水俣病つぶしをすすめるのは、いずれも1959(昭和34)年です。

まず漁民に対してです。不漁に悩み、魚が獲れても売れない状況が続く中、チッソ水俣工場に対し、廃水停止などを求めました。その際、一部が工場に乱入したために警察が導入され、漁民には多くの逮捕者が出て、勢いを削がれました。

次は、厚生省に作られた食品衛生調査会水俣食中毒部会です。この部会は、熊本大学の鰐淵先生が部会長をつとめ、水俣病の原因は「ある種の有機水銀化合物」と厚生省に答申し、犯人であるチッソに迫っていました。ところが厚生省は、答申の翌日に部会を解散させています。鰐淵先生は、これから本格的な対策を踏み込もうとしていたので、たいへんくやしい思いをされたそうです。

そして、医学界では、熊本大学の第一内科、徳臣教授は、翌1960年水俣病終焉説を唱えます。国をあげて、学者を取り込む大きな動きがあったと思います。

一番犯罪的なのは、やはりチッソです。

チッソ附属病院で自社工場の廃水といっしょにネコにエサを与える実験をしていて、自然発症と同じく水俣病を発症したネコを確認しています。11月のことですが、この時にすでにチッソは、自社工場の廃水が原因であることを十分認識しています。

同じような問題が富山イタイイタイ病にもありました。向井嘉之(よしゆき)さんの「いのち」によれば富山では、「空白の10年」と言われています。1955(昭和30)年から原因究明がすすまない中、高度経済成長をすすめるために増産が行われます。まさに国策としてチッソはアセトアルデヒドなどを、三井は鉛や亜鉛の生産を確保するために住民を見殺しにしたのです。

この時期は、国を挙げて国策として、高度経済成長政策を強引にすすめ、国民の命と生活が置き去りにされていた時期だと思えます。

### 見舞金契約

そして、最後に水俣病つぶしは患者におよびます。

チッソは、自らには責任がないことを前提に、1959(昭和34)年12月30日、患者と見舞金契約を結んでいます。公式確認後3回目の正月を迎える直前であり、モチ代はもとより食べ物にも事欠く患者に、立会人を務めた熊本県知事などは、これを飲まなければ、手を引くと恫喝しています。

見舞金契約第四条には患者は将来、水俣病がチッソの工場排水に起因しないことが決定した場合においては、その月をもって見舞金の交付は打ち切るものとする。

第五条には、患者は将来、水俣病がチッソの工場排水に起因することが決定した場合においても新たな補償金の要求は一切行わないものとする、としています。

のちの裁判で「公序良俗に反する」と無効にされましたが、それまでは生きていました。

また、この第五条は、福島原発被害者と東京電力の当初の補償内容にも同じような文面が入っていました。国会で大問題になり、ただちに撤回されましたが、大企業の常とう手段であることをあらためて考えさせられました。

### 水俣は「平和」に

1960(昭和35)年の水俣工場長の年頭のあいさつは、水俣の街は平和になった。増産に励もうというものであり、これをすすめるために市長や知事、国会議員、地方議員や有力者を総動員して漁民、患者を黙らせたのです。

その結果、初期の水俣病は、水俣湾周辺で発生した患者100名程度の原因不明の病気とされ、先天的な症状を有する患者が存在するが、脳性小児マヒもしくは類似患者であり、原因不明とされました。

社会的に水俣病の「抹殺」がなされたのです。

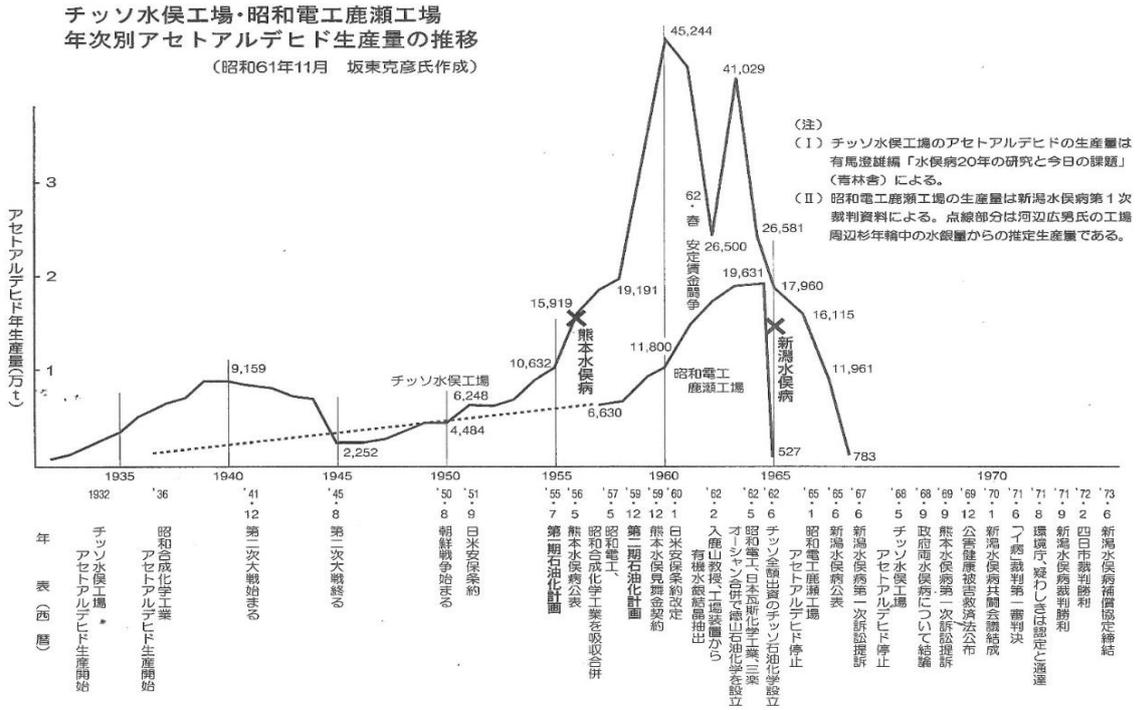
### なぜ水俣病つぶしか

1959(昭和34)年当時、日本は戦後の高度成長を目指している真っ只中でした。石炭から石油へのエネルギーの転換政策がすすめられ、全国に石油化学コンビナートが建設され、その準備もされていました。政府はこの戦後の高度経済成長の大方針を何かなんでも推進する立場でした。

これに貢献していたのがチッソでした。チッソは千葉県にある石油化学コンビナートに参画することになっており、その資金作りをせまられていました。その稼ぎ頭がプラスチック製品づくりに欠かせないアセトアルデヒドという製品でした。全国シェアを70%から80%を持っていました。これをつかって他のメーカーがビニールやプラスチック製品を大量に生産していました。

これが戦後の日本の産業を支えていたのですから、政府やチッソにとって操業を止めるなどという選択肢はなかったと思います。もう少し大きな視野で考えると日本がアメリカの巨大な石油資本に組み込まれ、アメリカの支配下にはいる、安保条約の改定の年を控えていたことも要因だと思います。

チッソ水俣工場・昭和電工鹿瀬工場  
年次別アセトアルデヒド生産量の推移  
(昭和61年11月 坂東克彦氏作成)



(次号へ続く)

## 2025公害団体合同旗開き

2月6日(木) JF新宿御苑6Fにて4年ぶりに公害団体合同旗開きが行われました。来賓として主婦連、東京地評、東京自治労連、東京民医連。参加団体は水俣病、福島原発被害者、大気汚染、イタイイタイ病、薬害、基地、アスベスト&じん肺、公害弁連、公害総行動実行委員会、公害・地球懇、などです。



福島原発被害者



スモン公害センター



ノーモア・ミナマタ



公害弁連

## JNEP情報(2025年2月)

### 政府が「エネルギー基本計画」「地球温暖化対策計画」「GX計画」案など発表・パブリックコメント実施

政府は「エネルギー基本計画」「地球温暖化対策計画」「GX計画」案を発表し1月26日までパブリックコメントを募集し、多くのコメントが寄せられた。多くは批判的意見だったにもかかわらず、これが生かされる保証はないので、気候危機を考える若者たちや諸団体とともにこれからさらに声をあげていく必要がある。

#### エネルギー基本計画面案

エネルギー基本計画は、原発回帰を進め、前回まであった「原発依存度を可能な限り低減」という方針を消して、原発を最大限活用することは必要不可欠とし、「既設炉の最大限の活用」として再稼働を進めるとしている。

2023年実績では8%の原発電力を、2040年には約20%と計画し、運転期間60年というカウントから、原発停止期間を除く方針も示した。原発新增設について、次世代革新炉を既設原発の建て替えを対象に進めると踏み込んだ。原発建設費用を政府が支援する仕組みづくりも議論されるようである。計画面案には原発の箇所にかような記述はないものの電力総論の項目に、大型電源の投資を予見可能性を高め促進する制度措置、民間金融の融資について公的な信用補完活用、政府の信用力を活用した融資などを挙げている。

国際エネルギー機関の2050年CO<sub>2</sub>排出ゼロの報告書では、先進国で2035年に対策のない火力を廃止する案になっているが、日本の今回計画面案は火力を継続、特に優先して削減すべき石炭火力の廃止目標を示さず、まだ実用化に至っていない水素やアンモニア、化石燃料を継続し地下に埋めるCCSを盛り込んで、それを口実に2040年には火力発電で発電量の3~4割を担うとした。

再生可能エネルギー電力割合の目標は2040年になってさえ、ドイツや英国が現在すでに達成している4~5割である。

化石燃料は温暖化対策の必要性にも関わらず「安定供給を確保しつつ現実的なトランジション」として継続して開発、輸入する方針で、先の石破・トランプ会談でさらに拡大されかねない状況である。

パリ協定の求めで、2月に日本政府は地球温暖化対策の2035年の目標を提出するが、エネルギー基本計画は2040年について示すのみで2035年のことは書かれていない。

#### 地球温暖化対策計画面案

この計画面案で、温室効果ガス削減目標について、2035年60%削減(2019年比53%)、2040年73%削減(2019年比68%)とし、2030年目標は46%削減(2019年比37%)で変えなかった。政府は、温暖化の悪影響を抑える気温上昇1.5度未満抑制に適合した目標だと主張しているが、2019年比での削減率は世界全体の削減率よりも小さい。審議会でも目標が低すぎる、「気温上昇1.5度抑制にあっていない」との議論があった。

今回大規模排出事業者への総量削減義務・排出量取引制度が、地球温暖化対策計画ではなく、また環境省所管の地球温暖化対策推進法の下ではなく、経済産業省が主導する次のGX2040年ビジョン案の中で提案された。

#### GX(グリーントランスフォーメーション) 2040年ビジョン案

環境省所管の法律でなく、これまで削減義務化に一貫して反対してきた経済産業省が主導するGX計画面案。大規模排出事業者への総量削減義務・排出量取引制度を2026年に本格施行することになっている。2033年からは電気事業者を対象に排出枠のオークションつまり排出枠を無償で配布しないことが行われる。環境省所管の法律でなく、GX計画面案で、炭素税に当たる炭素課徴金が示されている。

いずれも詳細は示されていない。この収入は国会を経ずには経済産業省が配分する可能性がある。

### 除去土壌（放射能汚染土）の全国での「再生利用」を可能とする「省令案」

大きな問題をはらむものにもかかわらず、一般市民への説明を行わず、「復興再生利用」などという意味不明の造語を使って省令の改正のみですませようとしているこれは、利用場所や用途の制限が行われず、放射性物質を環境中に拡散させる恐れがある。

以上はどれも大変大切なパブコメだったにもかかわらず、年末年始という一番忙しい時にほとんど一般周知がなされない状態で行われてしまった。地球懇としても取り組みが後手に回ってしまったが、これをそのまま認めるわけにはいかないの、これから他団体とも協働しながらさらに運動を強めていかななくてはならない。若者たちが立ち上げた「若者気候訴訟」について。も注視しつつ応援していきたい。

### 活動日誌

#### 1月

16日(木)公害総行動 事務局会議  
25日(土)第34回環境公害セミナー  
26日(日)ノーモア原発公害シンポジウム

#### 2月

6日(木)公害総行動第1回実行委員会  
6日(木)公害総行動 旗開き  
12日(水)第7次エネルギー基本計画の撤回とALPS処理水の海洋放出中止を求める2.12院内集会

### 今後の日程

#### 2月

22日(土)3.11メモリアルネットワーク  
福島交流会  
主催/311メモネット  
協力/原子力災害考証館  
furusato <https://311mn.org/info54>  
25日( )新潟水俣病控訴審(東京高裁)  
28日(金)映画『決断』19:00～

#### 3月

3日(月)ノーモア・ミナマタ  
東京地裁民事42部第35回弁論  
5日(水)映画『決断』13:00～  
上映後アフタートーク 監督安孫子亘  
6日(木)映画『決断』16:00～  
9日(日)原発ゼロ新宿パレード11:20～

発行 : 公害・地球環境問題懇談会  
(公害・地球懇/JNEP)  
連絡先 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-1-3  
サニーシティ新宿御苑10F  
TEL 03-3352-3663  
FAX 03-3352-9476  
郵便振替 : 00140-1-80892  
加入者 公害・地球環境問題懇談会

【映画『決断』上映情報】  
【会場】ギャラリー古藤(東京都練馬区  
栄町9-16 TEL03-3948-5328)  
【料金】当日1,200円(予約1,000円)